

そ の 他

その他

1. 久留米市社会福祉協議会（愛称 は～とふる久留米）（社会福祉法第109～111条）

社会福祉協議会は社会福祉の増進を図るため、住民の福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び事業の企画・実施を行う公共性と自主性を有する民間組織で、地域における住民組織と公私の社会福祉事業関係者等により構成されています。

急速な少子高齢化の進展による社会環境の変化の中で、社会福祉協議会が果たすべき役割は、ますます重要性を増し、「住民主体」の理念に基づき、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず市民一人ひとりがかけがえのない人間として尊重され、生きている幸せを実感できる「支え合うところあふれるまちくるめ」をめざして地域の福祉課題の解決に積極的に取り組んでいます。

1 主要事業

（1）地域福祉活動の推進支援

① 住民主体の地域づくり

令和7年度に策定した「第2期くるめ支え合うプラン」（計画期間：令和8年度～令和12年度）のめざす姿である「支え合うところあふれるまち くるめ」に向け、困りごとを抱える当事者を含む住民や多様な主体が主体的及び自発的に連携・協働して地域課題解決に向けた活動を展開できるよう取り組む。

具体的な取組みとして、地域に対し「第2期くるめ支え合うプラン」を積極的に周知するとともに、各校区にて作成される「校区福祉活動計画」の策定・見直しを支援する。

② 見守りや支援の対象者を広げる

見守りや支援の対象者を広げるため、高齢者や子ども、障害者などの様々な事例について、関係機関、団体はもとより、福祉以外の様々な分野とも連携・協働して取り組む。あわせて、フードドライブ活動等の支援、普及等に取り組む過程において、生活困窮世帯など適切な支援に繋がりにくい方々との出逢いと関係性づくりに努める。

また、校区社協連合会、校区社協やふれあいの会、支え合い推進会議が行う学習会などを通して、支援が必要な人や世帯の現状と課題への理解を促す。

さらに、ふれあいの会等による見守りや訪問活動の充実・強化、いきいきサロンの設置を支援する。

③ コミュニティ組織との新たなネットワーク化

支え合い推進会議を通して、多様な主体との関係構築・連携を進める。

地域住民や様々な関係者が互いに連携・協働し、支援を必要とされる方々とも支え合う地域づくりを進める。

また、地域の絆づくり、支え合いの意識の醸成に繋がっている活動や取組の把握に努め、普及につなげるため、各種媒体を活用した広報周知に取り組む。

④ 興味や関心事を軸として集う市民グループや経済団体等、多様な主体との連携

地域で活動する、興味や関心事から集う市民グループや経済団体等について情報収集をするとともに、積極的に関係を深め、それらのグループが行う、さまざまな活動や企画等に協力する。また、こうしたグループが地域に根差した地縁組織（地域コミュニティ組織等）との共同企画や事業などへ繋がるよう取り組む。

また、好事例が生まれた市民グループの活動内容を地縁組織やその他の市民グループへ周知し繋がり循環を広げる。

⑤ 地域福祉を担う人材の育成

社会福祉大会、ボランティアフェスティバル、校区社協連合会交流学習会などを実施し、住民参加の地域福祉活動の目的や重要性を訴え、地域福祉への理解を深める。

また、校区社協等地域関係者や学校、子どもたちの普段の生活にかかわりの深いPTA等と連携し、福祉教育の取組みを協働し実践することで、地域に根づいた福祉教育の充実を図る。

さらに、企業・事業所等への働きかけを強化し、校区コミュニティ組織や当事者団体等と連携し、学習会、研修会などの社会人の福祉学習の機会づくりにも取り組む。

（2）相談・支援

① 組織内の情報を支援活動に生かす

生活支援課の生活福祉資金貸付等や各種相談事業を通じて把握される要支援ケースについて、当事者の同

意のもと、必要に応じて地域福祉課と情報を共有し、連携して支援を行う。

また、令和5年7月の豪雨災害による被災者に対して実施した個別訪問等により発見された生活課題、福祉課題を抱えた人（世帯）に対して、引き続き寄り添った支援に取り組む。

② 継続的で柔軟な対応を行っていく

「複合・狭間」の課題の緩和・解消に向け、継続的で柔軟な対応を行うために、関係機関、関係住民、当事者等が課題について協議する場（重層的支援会議）を設けるとともに、関係機関が把握しているながらも支援が届いていないケースの情報共有や地域における必要な支援体制の検討（支援会議）を行う。

また、これまで支援につながっていなかった潜在的な課題を持つ人や支援を拒否する人に対しアウトリーチを行い、本人や家族との関係づくりから始め、必要に応じて適切な支援関係機関につなぐなど、本人や家族に寄り添った支援を行う。

様々な地域福祉課題の解決等にあたって、ライフレスキュー事業やインフォーマルな地域資源などを活用する。

③ 地域へのきめ細かな働きかけ

支え合い推進会議や校区社協役員会、ふれあいの会班長会、地区民生委員児童委員協議会などの住民同士の話し合いの場や、支援関係機関、自助グループ等が開催する話し合いの場に参加し、情報共有、支え合う関係づくりの促進、課題解決力の向上を図る。

また、複合的な課題を抱えた人（世帯）に関して、関係機関等と協力して、中心となる支援機関や役割分担を記載した個別支援計画を作成し、関係者（機関）との連携のもと、計画的な支援を行う。

さらに、課題を抱えた当事者が地域に溶け込めるように、自治会やふれあいの会、民生委員・児童委員等に協力を求めながら、住民とともに伴走型の支援を行う。

④ 要支援者の情報を速やかに把握する

これまでの見守り訪問活動により培われてきた「身近な地域で、お互いに気づき合い、見守り合える関係」などの好事例を、地域住民と共有し、取組みを進める。

また、近隣世帯の小さな変化から課題や困りごとに気づくことができる住民を増やすため、地域住民を対象とした学習会、研修会等を校区社協等とともに実施する。

さらに、担当コーディネーターは、住民同士の話し合いの場に参加し、地域や個別の世帯等の困りごとや課題を把握し、個別支援チームと連携し支援に努める。

⑤ 人生あんしん事業

その人らしく人生を終えられるよう、契約に基づき死後事務を行う「人生あんしん事業」を行う。

本事業は、契約者が亡くなった後の手続き等に関する重要な事業のため、相談に来られた人と一緒に時間をかけて考えながら進める。

契約後は、電話や訪問による定期的な見守りをしながら、契約者が死亡した際には、契約者の希望にそった葬儀・埋葬、家財処分などの手続きを行う。

(3) 権利擁護

① 法人後見事業

安定した事業運営のため、市の成年後見制度利用支援事業の利用等により収入の確保に努めるとともに、持続的に法人後見事業が運営できる仕組みの検討を行う。

また、本人に不利益が生じないよう関係機関と連携を図りながら臨機応変な対応を図る。

② 市民後見人の育成

市が主催するフォローアップ研修を受託し、市民後見人の養成を促進する。

また、今後も継続して市民後見人として単独受任できるよう、本会の法人後見支援員の業務内容を実践に即した内容に拡大し、当該支援員の実務能力の向上に努めるとともに、市民後見人養成講座修了生の活躍の場の創設に向けて、市と協議しながら取り組む。

さらに、本会が市民後見人の後見監督人を行うことで、市民後見人が円滑に活動できるよう支援する。

③ 成年後見センター（中核機関）の受託

市が成年後見制度の利用促進のために設置している中核機関を市と連携を図り運営し、後見人支援等の役割に取り組むとともに、成年後見センターの相談機能の充実と適正かつ効率的な運営に努める。

あわせて、地域連携ネットワークの構築に向けて検討する。

④ 日常生活自立支援事業

利用契約者数に応じた日常生活自立支援専門員を配置し、適正かつ適切な事業運営に努める。

また、利用契約者の判断能力の低下及び課題に応じて、適切な事業利用及び支援ができるよう、関係機関との連携強化に努める。

(4) 在宅福祉サービス

① 要介護認定調査業務の整理

要介護認定調査員の資質の向上を図り、要介護認定申請者の心身の状況を的確に把握し、質の高い適正な調査を実施する。また、調査員の人員体制を見極めながら、市と今後の受託期間の目途について協議を進める。

② 介護保険事業の整理

事業終了後の建物・物品等の資産について、整理を行う。

(5) 災害への対応

① 災害ボランティアセンター運営と本会の業務執行体制の確保

いつ災害が起こっても災害支援が安定的かつ継続的にいえるよう、福岡県社協や近隣社協及びNPO法人、大学や企業、事業所、団体等と人的な支援、資機材の提供や物資等の運搬・配送などについて、平常時から情報共有の場や協働による運営訓練の機会を設け、必要に応じて連携協定を結ぶ。

また、専門性や高いスキルを有した災害ボランティアを速やかに確保するため、災害支援ネット「ハッシュ#」をはじめとする関係機関と連携し、研修等による災害ボランティア活動経験者のスキルアップに努める。

なお、市民に対し必要なサービスを届ける業務執行体制を維持するため、事業継続計画（BCP）については、災害対応を想定した、より実効性のあるものに検討・見直しを行う。

② 非常時の支え合い

平時からの見守りや支え合いの促進を目指し、避難行動要支援者名簿を活用した見守り訪問活動や図上訓練の実施を進める。

また、避難行動要支援者への支援体制づくりとして、地域住民や関係機関とともに災害時マイプラン作成の支援をする。

さらに、避難行動要支援者が所属する団体への防災講座等に参加し、災害時マイプランの作成を通して、非常時の支え合いについての周知・啓発に努める。

(6) 情報の発信・広報

① 計画的、効果的な広報

アンケートやSNSの閲覧回数などを参考にして、住民が求めている情報は何かを把握するとともに、年間計画を作成し、タイムリーに必要な情報を発信する。

また、点訳・音訳による視覚障害者への情報提供に配慮するとともに、SNS世代ではない年齢層への対応として、担当コーディネーターが地域の会議等に出向いた際は参加者に情報提供し、その情報を地域住民へ伝えていただくように促す。

さらに、情報発信のさらなる充実・強化について検討を進めるとともに、研修等による職員のスキルアップを図る。

媒体別では、広報紙「くるめ福祉」の内容充実を図るとともに、レイアウト・デザインについて、わかりやすく魅力あるものとなるよう努める。

社会福祉協議会の公式YouTubeチャンネルを介して社会福祉協議協議会の取り組みや、地域の福祉活動、ボランティア活動などの紹介を積極的に展開する。

校区社協や支え合い推進会議の取り組みを広く紹介、周知する「つながるスイッチ！」を作成し、地域へ向け、市社協のホームページやFacebook、NOTEなど様々な媒体を通じて積極的な周知を図る。また、二次元コードパネルを設置し、若年層などに広く周知をしていく。

ボランティアセンター広報紙「まれっと」の内容充実を図るとともに、市社協のホームページやFacebookで積極的な周知を行い、メール配信等を通じた読者の増加に努める。

また、SNSの情報発信回数を増やし、双方向性を活かした情報発信を行うとともに、スマートフォンでも閲覧しやすいホームページの提供を行う。

さらに、テレビ局、新聞社等多様な媒体に積極的に情報提供を行う。

② 積極的な情報公開

現況報告書、事業計画書、事業報告書などの法人情報について、ホームページ等による円滑な提供に努める。

また、本会事業計画やくるめ支え合うプラン（地域福祉活動計画）など、本会が策定した計画を始め、久留米市社協ガイド、災害ボランティアセンター設置運営マニュアルなどの様々な情報について、ホームページなどで公開を進める。

2 事務局体制に関する取組

(1) 組織

① 企画・調整機能の強化

各課業務を横断する調整、事業の進捗管理などの全体調整や本会運営について、中長期的なスパンで企画・調整する総務課の機能強化を図る。

② 新たなニーズに対応した組織の見直し

「断らない相談・支援」や「伴走支援」などの新しいニーズに対応するために、住民の相談しやすさを最優先に限られた人材を最大限に活かすという観点から、組織の在り方を検討する。

(2) 職員

① 人材育成

「人材育成基本方針」を見直し、これに沿った階層別研修、専門研修等を行い職員の能力向上を図る。特に、コミュニティソーシャルワーカー研修の充実に取り組む。

また、実践的に行われるOJTが人材育成の基本であることから、OJTマニュアルを作成するとともに、効果的なOJTの実施を進めるために、各職場にて業務マニュアルやトレーニングツールの整備を行う。

(3) 事務事業

① 事務事業の見直し

既存の事務事業について、統廃合や実施方法の見直し、必要性の精査を行う。

また、会計処理及び税務処理に関する制度変更について、効率的に運用できるように対応する。

さらなるICT化による事務効率化及び電気料金、保守管理をはじめとした各種契約内容の検証・見直しを継続し、より一層のコスト削減を進める。

3 財源に関する取組

(1) 財源の確保・活用

① 公募事業への参画

指定管理施設（総合福祉会館、田主丸老人福祉センター、三潴総合福祉センター）は、最近の物価高騰や賃上げの影響を受け厳しい運営状況に直面しているが、一層の効率的な運営による収益の改善を図る。

② 自主財源の確保

地域住民に対し、本会の活動に対する理解促進を図りながら、より一層の支援を呼びかける。

また、住民のニーズに対応しつつ、自主財源につながる事業の創出や、地域福祉活動を推進させる新たな自主財源の確保に向けて調査・検討を行う。

4 付属明細書

(1) 社会福祉協議会管理施設利用者状況

(単位：人)

区分 \ 年度	R3	R4	R5	R6	R7
総合福祉センター	4,976	6,508	6,340	6,954	7,207
総合福祉会館	26,701	40,485	44,000	49,950	40,076
田主丸老人福祉センター	16,380	19,942	18,529	19,170	19,926
三潴総合福祉センター	18,356	26,928	29,292	34,482	26,720
計	66,413	93,863	98,161	110,556	93,929

* 田主丸老人福祉センターは、平成27年度から指定管理者となる。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により一部臨時休館（令和2年3月7日～令和2年5月25日）

（令和3年5月12日～令和3年6月20日）

（令和3年8月10日～令和3年9月30日）

(2) ふれあい福祉相談所事業状況

心配ごと相談を進歩、発展させた相談事業で、ふれあいのまちづくりの一環として、相談員等が解決のお手伝いをします。

○令和8年度 相談区分別、月別ふれあい福祉相談カード提出実績

N0	相談区分 (月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	在宅福祉・介護	18	2	6	5	5	6	6	6	2	2	0	8	66
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	介護保険	8	9	7	7	2	2	7	3	3	3	4	3	58
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	健康・保健医療	12	0	3	6	1	5	5	6	1	6	5	4	54
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	子育て・母子保健	9	1	0	3	2	0	0	0	1	3	2	4	25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	子どもの地域生活	52	32	37	23	9	27	28	1	24	12	24	29	298
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	子どもの教育・学校生活	7	1	3	4	2	10	10	0	4	1	0	6	48
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	生活費	9	2	1	6	4	4	2	2	1	1	1	1	34
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	年金・保険	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	6
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	仕事・就職	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	家族関係	10	2	5	7	1	2	2	2	0	1	0	0	32
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	住居	7	3	2	1	3	4	1	1	4	0	0	0	26
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	生活環境	7	7	5	7	9	11	4	2	2	3	4	5	26
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	日常的な支援	86	56	46	62	40	67	53	5	93	36	55	92	691
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	その他	65	46	17	26	20	22	18	10	22	22	23	18	309
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		291	161	133	157	98	163	136	38	157	91	118	172	1,715
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 上段：全体取扱数 下段：ふれあい福祉相談室（総合福祉センター内）取扱数

(3) 生活福祉資金貸付状況

障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対し、生活福祉資金の貸付を行い、当該世帯の経済的自立と生活意欲を高めるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図っています。

(単位：件・円)

年度 区分		R3	R4	R5	R6	R7
総合支援資金	生 活 支 援 費	0	0	0	1	0
		0	0	0	200,000	0
	住 宅 入 居 費	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
福 祉 資 金	福 祉 費	33	20	31	34	40
		6,956,000	3,281,000	10,800,000	5,119,000	6,612,000
	緊急小口資金	9	11	17	13	13
		86,000	1,100,000	1,660,000	1,300,000	1,135,000
教育支援資金	教 育 支 援 費	36	37	44	42	38
		10,086,000	12,312,000	16,795,000	17,621,000	19,414,000
	就 学 支 度 費	38	37	41	39	28
		13,724,000	10,400,000	14,567,000	10,271,000	9,344,000
不 動 産 担 保 型 生 活 資 金		0	0	0	1	0
		0	0	0	150,000	0
臨 時 特 例 つ な ぎ 資 金		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
緊急小口資金特例 【R2 年 7 月豪雨災害】						
緊急小口資金特例 【新型コロナ】		1,506	499			
		20,403,000	73,150,000			
総合支援資金特例 【新型コロナ】		2,752	440			
		1,444,370,000	227,320,000			
計		4,374	1,044	133	130	119
		1,495,625,000	327,563,000	43,822,000	34,661,000	36,505,000

(4) 特例貸付相談事業【新型コロナ】

コロナ特例貸付を借りられた方への償還等に関する相談支援。

(単位：件)

区分 \ 年度	R4	R5	R6	R7
相談支援件数		392	916	2,261

(5) 福祉人材バンク職業紹介事業

無料職業紹介事業

<求職状況年度推移>

(単位：人)

区分 \ 年度	R3	R4	R5	R6	R7
来所登録 新規求職者数	77	87	84	95	89
有効求職者数	23	30	24	28	29

<求職状況年度推移>

(単位：件・人)

区分 \ 年度	R3	R4	R5	R6	R7
1) 新規求人件数	689	646	559	606	684
2) 新規求人数	1,524	1,468	1,251	1,275	1,349
3) 新規求人施設数	231	217	207	214	234
4) 有効求人件数(※1)	1,912	1,805	113	98	116
5) 有効求人数(※1)	4,188	4,070	262	200	243
6) 有効求人施設数(※1)	579	519	41	35	38
7) 応募・紹介者数	1	3	28	40	39
8) 採用人数	10	8	8	12	14
9) 就職前辞退人数(※2)			1	2	0
10) 就職後6ヶ月以内(※3)	解雇		1	0	0
	離職		1	2	2

※1 労働局に提出する3月末時点の有効求人数

※2 採用決定後就職前に辞退した人数

※3 対象は前年度採用者

<相談状況年度推移>

(単位：人)

区分 \ 年度	R3	R4	R5	R6	R7
計	931	969	1,038	1,256	1,383
求 人	744	771	802	903	1,079
求 職	187	198	236	353	304

<65才以上の高齢者に対する職業紹介推移>

(単位：人・%)

区分 \ 年度	R3	R4	R5	R6	R7
紹 介 者 数	0	0	0	0	0
就 職 者 数	0	0	0	0	0
就 職 率	0	0	0	0	0

(6) 社会福祉協議会会員制度状況

社会福祉事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることに賛同し目的達成のため必要な援助を行う会員制度に入会された方。

- ・正会員 (年額 1口 3,000円以上)
- ・賛助会員 個人会員 (年額 1口 1,000円)
- 法人会員 (年額 1口 5,000円)

正会員、賛助会員加入状況

(単位：件・口・円)

年度 区分		R3	R4	R5	R6	R7	
正 会 員		加入数	48	51	50	52	53
		口 数	48	51	50	53	53
		金 額	144, 000	153, 000	150, 000	159, 000	159, 000
賛 助 会 員	個人	加入数	127	95	88	102	110
		口 数	203	149	129	314. 5	383
		金 額	203, 000	149, 000	129, 000	314, 500	383, 000
	法人	加入数	2	21	8	15	10
		口 数	2	131	37	131	36
		金 額	10, 000	655, 000	185, 000	655, 000	180, 000
計		会員数	177	167	146	169	173
		口 数	253	331	179	498. 5	472
		金 額	361, 000	957, 000	464, 000	1, 128, 500	722, 000

(7) 共同募金運動状況

「赤い羽根」共同募金運動として毎年、10月1日～12月31日まで全国一斉に行われている、地域福祉の推進を目的とした募金。

(単位：千円・%)

年度 区分				R3	R4	R5	R6	R7
目 標 額				73,041	72,873	72,566	72,777	71,700
募 金 総 額				72,874	72,565	72,776	71,700	69,871
実 績 額	一 般 募 金	総 額		57,264	57,157	57,216	56,459	54,925
		内 訳	戸 別	41,432	41,012	41,297	40,685	40,161
			そ の 他	15,832	16,145	15,919	15,774	14,764
歳 末 た す け あ い 募 金				15,608	15,408	15,560	15,241	14,946
目標額に対する割合（％）				99.8	99.6	100.3	98.5	97.5

(8) 日赤活動資金

日本赤十字社の活動を支える活動資金の募集状況。

(単位：千円・%)

年度		R3	R4	R5	R6	R7
区分						
目 標 額		24, 586	24, 492	24, 381	24, 405	24, 381
実 績 額	総 額	32, 129	35, 192	37, 330	34, 694	321, 923
	一 般 活 動 資 金	28, 880	28, 593	28, 345	29, 602	29, 101
	法 人 活 動 資 金	1, 124	2, 197	1, 142	592	1, 021
	高 額 寄 付 金	2, 075	4, 402	7, 792	4, 500	1, 800
	そ の 他 （ 直 轄 ）	50	0	51	0	1
目標額に対する割合（％）		131	144	153	142	131

2. ボランティア登録団体一覧表

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
1	広域	久留米市ボランティア 連絡協議会	(会長) 浦川 豊彦	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	1977 年	・ ボランティアグループ 約 60 団体 ・ 情報交換、研修会の開催 情報誌の発行 ・ 社協補助金 正会員 (年) 2,000 円
2	広域	日本赤十字社 福岡県支部安全奉仕団 筑後地区安全普及会	中村 和彦	宮ノ陣 3-4-27 日本赤十字会館内 0942-36-5858	1970 年	・ 会員数 32 人 ・ 赤十字救急法、水上安全法、幼 児安全法、防災セミナーの講習 普及活動
3	広域	くるめすこやか推進会	和田美代子	諏訪野町 1792- 1-806 0942-31-4146	1986 年	・ 会員数 37 人 ・ 健康づくり運動の啓発と P R
4	広域	久留米市食生活改善推 進員協議会	和田 久子	城南町 15-5 保健所健康推 進課内 0942-30-9331	2004 年	・ 会員数 219 人 ・ 地域住民を対象に、食を通して の学習会や調理実習等を開催
5	広域	NPO法人 シニアネット久留米	牟田慎一郎	御井町 387 府中公民館内 0942-65-4545	2000 年	・ インターネットを絆とし、情報 弱者・格差をなくし、シニアの 豊かな生活・生きがいづくり、 住み良い環境作りの支援をする。
6	広域	せらびいー・お手玉会	中垣 麗子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2002 年	・ 会員数 7 人 ・ お手玉をした後にセラピュー ケアを一緒にする。 ・ サロン、コミュニティセンタ ー、学童などで実施している
7	広域	NPO法人 ホームレス支援 久留米越冬活動の会	寺崎 繁	原古賀町 20-1 レィバート 105 0942-35-1523	2008 年	・ 会員数 20 人 ・ 生活困窮者への支援活動(食の 提供・就労支援・医療相談・す まいの相談)
8	施設	くるめ傾聴ボランティア ろばの耳	古賀 洋江	諏訪野町 1830- 6 え〜るピア 久留米内 090-9796-8361	2011 年	・ 会員数 39 人 ・ 高齢者福祉施設や自宅などでの 傾聴活動
9	広域	配食ボランティア	田中 和子	三潴町玉満 1790 ゆうゆう内 0942-64-4134	2000 年	・ 会員数 17 人 ・ ひとり暮らし高齢者等に週 1 回 (水曜日) 昼食のお弁当を 2 人 1 組で配達し、傾聴などを行う
10	広域	久留米 I T リーダーズ クラブ	金子 縁	篠山町 164-3 musouk7@gmail .com	2004 年	・ 会員数 12 人 ・ パソコン講座、相談会の開催
11	広域	福岡県広域防災士ネッ トワーク (特定非営利活動法人 日本防災士会 久留米 支部)	矢野 彰	御井町 516 090-3732-0249 ay163516@yaho o.co.jp	2007 年	・ 会員数 50 人 ・ 防災士としての活動と技術 研鑽を支援

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
12	障害	久留米手話の会	二宗 幸子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	1973 年	・会員数 70 人 ・手話の学習 聴覚障害者との交流 通訳活動
13	障害	パソコン点訳 コミュニケーションの 会	角光久仁子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	1992 年	・会員数 5 人 ・視覚障害者の方への情報提供 (点訳)
14	障害	フレンドバスケット	立石八代子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	1995 年	・会員数 10 人 ・障害児者とボランティアの バスケットを通じての交流 ・活動日 土曜日
15	広域	久留米大学看護学科 ボランティアサークル はなみずき	加悦 美恵	東櫛原町 777-1 0942-31-7714 (久留米大学医学部事務部)	1998 年	・ALS 等の神経難病や医療的ケア が必要な子どもの理解促進 ・療養者とその家族を対象とした 支援活動 ・地域の健康イベントへの協力
16	障害	認定特定非営利活動法人 日本車椅子レク ダンス協会 久留米支部	木下 一	宮ノ陣 4-14-18 0942-38-9303	1998 年	・会員数 12 人 ・車いすレクダンスの普及、指 導、支援
17	障害	パソコン要約筆記の会 「PCくるめ」	橋本みどり	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 pckurume@yahoo. co. jp	2003 年	・会員数 19 人 ・聞こえづらい方に、その場の話 の内容を要約し、文字にして伝 える活動 ・練習会を定期的に開催
18	障害	朗読ボランティア コスモス	大塚 泰子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	1987 年	・会員数 11 人 ・視力障害者への広報誌などの テープ録音・集いの協力 ・大型紙芝居での施設訪問 ・サロン訪問
19	障害	北野手話の会	竹内美香子	長門石 1-1-34 市社協内 090-5274-5563 syuwa_cosmos@ yahoo. co. jp	1991 年	・会員数 21 人 ・手話の学習及びびろう者との交 流、ボランティア活動への参 加、聴覚障害者への手話通訳
20	障害	久留米市 自閉症児・者 親の会	肥川 光子	久留米市高野 1-2-12 0942-46-9218	1976 年	・会員数約 20 人 ・自閉症児者の方の余暇活動 支援や共同作業所での作業、 自閉症の研修会などを実施
21	高齢者	特定非営利活動法人 にこにこ会	岩坂 茂子	西町 080-3908-2940	1955 年	・認知症、物忘れ、介護保険等 に関する学習会の実施 ・会員等との交流会
22	環境	大嗣会	勝田 博	三潴町早津崎 872-4 0942-64-3374	1996 年	・会員数 9 人 ・三潴総合福祉センターや社協 の支援活動を中心に環境美化 活動に取り組んでいる。

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
23	施設	くるめ健康皿回し 愛好会	幾野 慶次	大手町 4-1 0942-32-3039	2002 年	・ 会員数 7 人 ・ 福祉施設等での皿回しの披露、 指導
24	児童	久留米 B B S 会	梅野 哲史	南 1-8-17 0942-32-2943	1962 年	・ いじめや不登校などで悩む少 年少女に寄り添って成長を助 ける活動
25	児童	託児ボランティア 「レインボー」	村田 佳美	東櫛原 1261-2 0942-34-8475	1999 年	・ 育児サークルの託児を中心に 各団体からの依頼を受けてい る
26	児童	福岡県青少年科学館 ボランティア会	田中 正明	東櫛原町 1713 0942-37-5566 mail@science. pref	1990 年	・ 会員数 60 人 ・ 科学館で開催される工作教室 や天文観望会などのイベント 運営補助
27	児童	特定非営利活動法人 子育て支援ボランティ ア「くるるんるん」	福田 桂子	天神町 8 フラッグ 久留米サス 5F 0942-34-5571	2008 年	・ 会員数 100 人 ・ 子育て交流プラザ内での 育児ボランティア活動
28	児童	え～るピア 「子ども交流」	木下 等	諏訪野町 1830- 6 え～るピア久 留米内 0942-30-7900	2008 年	・ 会員数 15 人 ・ 中央図書館、耳納市民センター、 幼稚園等で、絵本の読み聞かせ、 紙芝居、エプロンシアター などを行い、子育て支援を行っ ている。
29	医療	NPO 法人結の会	田村真由美	梅満町 4-1 080-3374-3143	2011 年	・ 末期がんなどで在宅にて緩和 ケアを受けている患者・家族の 生活支援
30	環境	石けんを広め自然環境 を守る久留米市民の会	時井 純子	中央町 21-17 0942-33-6373	1980 年	・ エコライフ活動ボランティア ・ 廃油石けんづくり
31	障害	ダウン症児・親の会 「翼の会」	大和いずみ	小森野 090-4998-3151	1993 年	・ 悩みや成長の喜びを共に分か ち合える 語らいの場づくり ・ 子ども達が地域の中で 心豊 かに生き生きとした生活が送 れるよう支援活動
32	高齢者	サロンレクリエーショ ンサポーター3 班こす もす隊	末金千鶴子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2012 年	・ 会員数 5 人 ・ 地区の公民館で行われるサロ ンに出向き、レクリエーション を行う活動
33	障害	筑後川花火大会を みんなで見る会	平田 浩二	長門石 4-8-30 090-4779-4862 (事務：藤林)	2014 年	・ 障害を持つ人が花火に行く ための支援を行う
34	高齢者	認知症への理解を広め る会・久留米	江上 憲一	篠山町 164-3 090-9488-7308	2010 年	・ 会員数 15 人 ・ 認知症サポーター養成講座の 開催 ・ 認知症予防講演会の開催
35	高齢者	サロンレクリエーション サポーター2 班はっぴ ～い会	牟田 伸子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2012 年	・ 会員数 6 人 ・ いきいきサロンでの高齢者 支援活動

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
36	地域	三潯町 総合ボランティア センター	永田 一伸	久留米市三潯 町玉満 1790 三潯総合福祉 センター「ゆ うゆう」 0942-64-4134	2004 年	・会員数 63 人 ・ふるさとみづま祭出店 ・視察研修 等
37	障害	聴覚障害教育支援 NPO法人 言葉の森くるめ	山崎佳都子	高良内町 2944- 148 080-3941-5468	2013 年	・久留米聴覚特別支援学校に 通う幼児・児童の放課後支援 ・2～3か月に1回定例会
38	施設	北野ハーモニカクラブ	田中 正敏	北野町十郎丸 1355-1 090-4588-4267 0942-78-2359	2008 年	・会員数 14 人 ・楽しむためのハーモニカ演奏 ・サロンや老人クラブ等での演 奏披露
39	高齢者	久留米市 キャラバン・メイト 連絡会	堀江 桃子	篠山町 164-3 (江上様宅) 090-9488-7308 musouk7@gmail .com	2013 年	・会員数 63 人 ・認知症サポーター養成講座の 開催 ・オレンジ協力隊の活動 ・認知症予防講座の開催
40	障害	心眼ハート♡あいず	長谷部寿子	三養基郡みや き町白壁 894-9 090-3987-3327 shinganhearte yes@gmail.com	2015 年	・会員数 50 人 ・見えない・見えにくい人のサポ ート団体
41	施設	えーるピア久留米生涯 学習センター利用者の 会 第二事業部	伊藤 繁信	諏訪野町 1830- 6 えーるピア久 留米内 0942-30-7900	2001 年	・福祉施設を訪問、交流し、身に つけた事業活動を紹介する
42	児童	安武子ども食堂	浦川 豊彦	安武町住吉 741-1 080-6118-5285	2014 年	・会員数 20 人 ・食事の提供等、子どもを地域 ぐるみで支え合う活動
43	児童	久留米市母子寡婦福祉 会	藤田 君子	長門石 1-1-32 総合福祉会館 内 0942-39-2277	1949 年	・会員数約 351 人 ・ひとり親家庭及び寡婦の福祉 支援活動 等
44	広域	フードバンクくるめ	浦川 豊彦	城島町城島 689-2 0942-62-2896	2017 年	・会員数 60 人 ・食品ロスと貧困問題の橋渡し で社会問題の低減を図る
45	広域	地域活動応援塾・くる め	星野 敬子	篠山町 164-3 (江上様宅) 090-9488-7308 musouk7@gmail .com	2017 年	・会員数 11 人 ・地域活動促進 ・高齢者の孤立・孤独対策
46	広域	あじさいクラブ	石橋 良子	御井町 1708-3 0942-43-2950 080-4282-3670	2018 年	・会員数 9 人 ・ニュースポーツの輪を広げる ・施設、サロン等への訪問

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
47	広域	舞・新鮮組	樋口 英明	城島町江上上 272-5 090-7448-1085	2018 年	・会員数 10 人 ・舞踊、演奏、マジック等を高齢者施設等で披露
48	広域	安武和太鼓の会 《福寿太鼓》《MIYABI》	大谷 礼子	安武町住吉	2004 年	・会員数 17 人 ・和太鼓演奏 ・高齢者施設等での演奏
49	地域	北野町ボランティア連絡会「さくら」	永松 千枝	北野町大城 80-11	2017 年	・会員数 210 人 ・地域ボランティア調査、研究、学習等
50	広域	NPO 明るい社会づくり運動 県南地区協議会	大倉 善晴	国分町 1591 0942-22-5348	1977 年	・チャリティーコンサート、バザー、奉仕活動
51	高齢者	フラワー珈琲の会	田村 美雪	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2019 年	・淹れたてのコーヒーによるサロンや地域イベント等への参加
52	高齢者	くるめ蕎麦打ち迷人の会	瀬戸島康之	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2019 年	・会員数 14 人 ・手打ちそばによるサロンや地域イベント等への参加
53	障害	ポレポレ倶楽部	高田 次雄	安武町武島 468-2 出会いの 場ポレポレ内 0942-27-2039	2011 年	・就労移行支援、コミュニティづくり推進事業
54	広域	抹茶ボランティア会	野嶋 文香	長門石 1-1-34 市社協内 090-5609-7274	2021 年	・会員数 23 人 ・地域のサロン等や地域イベントへ出向き抹茶を点ててくつろげるひと時を作る
55	高齢者	ボランティア歌声デリバリー	草場 朋子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2023 年	・会員数 10 人 ・サロンや施設に出向いて歌謡曲等を会場の人と一緒に歌う
56	広域	一般社団法人 隣友の会	江頭ひとみ	佐賀市白山 2 丁目 1-12 佐賀商エビル 7FNo.26 tonaritomo26@gmail.com	2020 年	・会員数 18 人 ・フードドライブ、フードパントリーでひとり親世帯、外国籍世帯等の支援活動
57	障害	特定非営利活動法人 久留米市手をつなぐ育成会	藤野 薫	長門石 1-1-34 市社協内 0942-38-4353 tetunagu@kumin.ne.jp	2008 年	・会員数 175 人 ・障害がある人が地域とつながりあい暮らしていくことの支援 ・地域の居場所づくり、制度のすきまの支援
58	広域	一般社団法人女性と子どものエンパワメント研究所（通称ぱ～ぷるリボン）	石本 宗子	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090	2002 年 (2023 法人化)	・会員数 100 人 ・シェルターを拠点としたDV 被害者への支援活動

番号	対象	グループ名	代表者名	連絡先 (住所・電話)	発足年	会員構成・主な活動内容・財源等
59	児童	昔遊びの広場	木下 等	諏訪野町 1830-6 えーるピア久留米内 0942-30-7900	2010 年	・会員数 10 人 ・伝統文化（昔遊び）の伝承を通じた交流
60	広域	特定非営利活動法人 ワンストップリーガル ネット	中村 誠治	東櫛原 1313-2 080-3962-7126	2006 年	・会員数 45 人 ・弁護士など有資格者らによる 無料相談会の開催
61	広域	ふいりあ	吉岡 千佳	久留米市津福 本町 422 聖マリア学院 大学内 0942-35-7271	2011 年	・会員数 25 人 ・災害ボランティア ・i サイクル活動、イベント参加
62	広域	ほとめきにわか隊	於保 藤信	諏訪野町 1830-6 えーるピア久留米内 0942-30-7900	2010 年	・「久留米にわか」の伝承と普及 を通じた地域交流
63	児童	ダンデライオン 不登校、ひきこもりを 考える親の会	内山 忍	長門石 1-1-34 市社協内 0942-34-3035 0942-34-3090 dandelionkuru me@gmail.com	2019 年	・会員数 25 人 ・不登校や行渋り、ひきこもり等 を経験した子どもを持つ親が 知り合い、学び合う機会を作る

(社会福祉協議会調べ)

区分 \ 年度	グループ数						
	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年
広 域	2	24	24	30	26	26	23
地 域	56	36	1	1	2	2	2
障 害	15	14	14	17	15	15	14
高 齢 者	16	14	11	11	9	9	8
施 設	6	6	5	3	4	4	4
児 童	9	9	9	8	9	9	9
医 療	3	3	3	3	2	2	1
環 境	2	2	1	1	2	2	2
国 際	0	0	0	1	1	1	0
計	109	108	68	75	70	70	63

3. 保健福祉基金

名 称		久留米市社会福祉振興基金			久留米市石橋福祉基金																										
設 置		昭和 58 年 4 月 1 日			平成 2 年 3 月 28 日																										
目 的		社会福祉の向上充実を図るために必要な事業の推進			福祉施設等の設備整備及び福祉活動の推進																										
基 金	令和 5 年度末残高	173,717,737 円			令和元年度末残高	156,525,392 円																									
	令和 6 年度末残高	173,798,512 円			令和 2 年度寄附額	0 円																									
	令和 7 年度寄附額	3,548,763 円			令和 2 年度取崩額	0 円																									
	令和 7 年度取崩額	0 円			令和 2 年度末残高	156,537,025 円																									
	令和 7 年度末残高	177,716,278 円			(令和 3 年 6 月 1 日)	(基金統合)																									
利 子	令和 7 年度利子額	369,003 円			令和 3 年度利子額	－																									
	平均利率	0.022%			平均利率	－																									
事 業 内 容	(1) 社会福祉協議会の行う事業への補助				(1) 福祉施設等設備整備費補助金 (H12 から休止)																										
	47 千円 (H27)				テレビ・ビデオ等の購入費補助																										
	636 千円 (H28)				○対象																										
	214 千円 (H29)				①市内の福祉施設																										
	161 千円 (H30)				②入居者の 1/2 以上が久留米市民、または 1/2 以上																										
	8 千円 (R01)				を久留米市が措置 (老人ホーム、身障知障施設、																										
	0 千円 (R02)				知障児通園施設、共同作業所等)																										
	①ふれあいのまちづくり事業				○実績																										
	・地域福祉ネットワーク事業等				30 件 2,649,720 円 (H10)																										
	②ボランティア事業				31 件 1,619,259 円 (H11)																										
・ボランティアフェスティバル、				<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">上限 (千円)</td><td colspan="2">件数</td></tr><tr><td>H10</td><td>H11</td><td>H10</td><td>H11</td></tr><tr><td>市内施設、市外施設で市民が半数以上、または 30 人以上</td><td>100</td><td>60</td><td>22</td><td>22</td></tr><tr><td>市外施設で市民が 20 人以上、30 人未満</td><td>75</td><td>45</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>市外施設で市民が 10 人以上、20 人未満</td><td>50</td><td>30</td><td>6</td><td>7</td></tr></table>					上限 (千円)		件数		H10	H11	H10	H11	市内施設、市外施設で市民が半数以上、または 30 人以上	100	60	22	22	市外施設で市民が 20 人以上、30 人未満	75	45	2	2	市外施設で市民が 10 人以上、20 人未満	50	30	6	7
	上限 (千円)		件数																												
	H10	H11	H10					H11																							
市内施設、市外施設で市民が半数以上、または 30 人以上	100	60	22					22																							
市外施設で市民が 20 人以上、30 人未満	75	45	2					2																							
市外施設で市民が 10 人以上、20 人未満	50	30	6	7																											
各種ボランティア講座等																															
(2) 社会福祉施設整備費補助				(2) 福祉活動事業費補助金 (H13 から休止)																											
①老人福祉施設整備費				民間福祉団体の行う福祉事業補助																											
86,983 千円 (H15)				○補助基準																											
0 千円 (H16-R02)				1 事業 10 万円まで (H10)																											
②社会福祉施設整備費				" 7 万円まで (H11)																											
39,443 千円 (H15)				" 6 万円まで (H12)																											
0 千円 (H16-R02)				○実績																											
(3) 社会福祉協議会運営費補助 (H16 から)				14 件 840,000 円 (H12)																											
50,000 千円 (H16)				*「久留米市基金条例等の一部を改正する等の条例 (令和 3 年 6 月 1 日施行)」に伴い、令和 2 年度末残高を社会福祉振興基金へ積み立て (基金統合)。																											
0 千円 (H17-H18)																															
50,000 千円 (H19)																															
0 千円 (H20-H25)																															
50,000 千円 (H26)																															
0 千円 (H27-H30)																															
0 千円 (R01)																															
100,000 千円 (R02)																															
寄 附 実 績	R05 決算	156,815 円	7 件					H30 決算	0 円	0 件																					
	R06 決算	27,700 円	7 件					R01 決算	0 円	0 件																					
	R07 決算	3,548,763 円	11 件	R02 決算	0 円	0 件																									
	R08 予算	1,500,000 円	－件																												
利 子 実 績	R05 決算	4,275 円		H30 決算	246,603 円																										
	R06 決算	53,075 円		R01 決算	11,331 円																										
	R07 決算	369,003 円		R02 決算	11,633 円																										
	R08 予算	838,556 円																													
取 崩 実 績	R04 決算	0 円		H30 決算	0 円																										
	R05 決算	0 円		R01 決算	0 円																										
	R06 決算	0 円		R02 決算	0 円																										
	R07 決算	0 円																													

名 称	久留米市境社会福祉基金			久留米市子ども・子育て支援基金		
設 置	平成 17 年 2 月 5 日			令和 3 年 6 月 1 日		
目 的	市内の就労不可能な重度身体障害者に対する見舞金			子どもの健やかな育ちを保障し、子ども・子育てを地域において支え合い、安心して生み育てられる環境づくりの推進		
基 金	令和元年度末残高	10,237,016 円		令和 6 年度末残高	99,896,259 円	
	令和 2 年度寄附額	0 円		令和 7 年度寄附額	2,369,612 円	
	令和 2 年度取崩額	0 円		令和 7 年度取崩額	12,512,000 円	
	令和 2 年度末残高	10,237,777 円		令和 7 年度末残高	89,753,871 円	
	(令和 3 年 6 月 1 日)		(基金統合)			
利 子	令和 3 年度利子額	—		令和 7 年度利子額	212,097 円	
	平均利率	—		平均利率	0.700%	
事 業 内 容	(1) 見舞金 (H17 から休止) 運用から生じる収益により、町内の就労不可能な重度身体障害者に対して見舞金を交付する。 ○対象者 町内に住所を有し、就労不可能な重度身体障害者とし、年齢を 20 歳以上 60 歳未満とする。(基準日を 9 月 1 日とし、病院や施設の入所者を除く) ○選考委員会 見舞金支給の適否の審議を行うため、選考委員会を設置する。(旧城島町から引き継いだ事業) ※「久留米市基金条例等の一部を改正する等の条例(令和 3 年 6 月 1 日施行)」に伴い、令和 2 年度末残高を社会福祉振興基金へ積み立て(基金統廃合)。			(1) 子ども・子育て支援基金運用事業 社会福祉協議会の行う事業への助成 ○地域における子どもの遊び場整備費助成(40万円上限) 35 件 2,699,087 円 (R6) 19 件 2,697,214 円 (R7) (2) 子育て交流プラザ運営事業 子育てに関する相談対応、子育てに関する啓発事業、子育てボランティアの交流、一時預かり事業など (3) 地域子育て支援センター事業 子育て相談対応、子育てサークルの育成指導、保護者同士の交流スペースの提供、子育てに関する啓発事業など (4) ブックスタート事業 赤ちゃんとその保護者を対象に、こどもへの語りかけの大切さを伝えるとともに、絵本のプレゼントや読み聞かせなどを行い、絵本の楽しさを知ることのきっかけづくりを行う (5) こどもの居場所づくり事業 こども食堂を市内で開催する団体に必要な経費を補助。		
寄 附 実 績	H30 決算	0 円	0 件	R05 決算	2,276,604 円	1 件
	R01 決算	0 円	0 件	R06 決算	3,091,667 円	1 件
	R02 決算	0 円	0 件	R07 決算	2,369,612 円	1 件
				R08 予算	2,000,000 円	—
利 子 実 績	H30 決算	16,128 円		R05 決算	2,329 円	
	R01 決算	741 円		R06 決算	29,576 円	
	R02 決算	761 円		R07 決算	212,097 円	
				R08 予算	632,962 円	
取 崩 実 績	H30 決算	0 円		R05 決算	0 円	
	R01 決算	0 円		R06 決算	0 円	
	R02 決算	0 円		R07 決算	12,512,000 円	
				R08 予算	14,237,000 円	

令和 8 年版

保健福祉事業概要

発 行	久留米市
所 在 地	福岡県久留米市城南町15番地 3
連 絡 先	健康福祉部総務 TEL (0942) 30-9022 FAX (0942) 30-9752 子ども未来部総務 TEL (0942) 30-9829 FAX (0942) 30-9718
発行年月	令和 8 年 9 月